

ピロキロン剤 コラトップ豆つぶ	取扱メーカー： クミカ、シンジェンタ 原体メーカー： シンジェンタ
成分： ピロキロン〔ピロロキノリノン系〕……………48.0%	性状： 淡褐色粒状 粒径 3～8mm 毒性： 普通物 消防法： —

【品目特性】……………

- 葉いもち、穂いもちに安定した効果が長く持続する。
- 浸透移行性、即効性に優れるため、散布適期が幅広い薬剤である。
- 各種薬剤耐性いもち病菌に対して安定した効果を示す。
- 10a 当り 250g と軽量で、拡散性に優れた豆つぶ製剤である。

【使用上のポイント】……………

- 湛水状態（3～5cm 程度）で田面に均一に散布し、4～5日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水やかけ流しをしない。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 藻類、表層はく離などの水面浮遊物が多い場合は、拡散が不十分になるおそれがあるため、丁寧に散布する。
- 吸湿性があるので、濡れた手で作業したり、降雨で濡れたりすることがないように注意する。また、開封後は早めに使用する。

【安全対策上の注意】……………

- 眼に対して強い刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 散布の際は保護メガネ、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。
- カブレやすい体質の人は取扱いに十分注意する。



【適用と使用法】……………

作物名	適用病害名	10 a 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ピロキロンを含む 農業の総使用回数
稲	いもち病	250～ 375g	・葉いもちに対しては初発 10日前～初発時 ・穂いもちに対しては出穂 30日前～5日前まで	2回以内	散布	3回以内 （直播での種 時又は移植時ま での処理は1回 以内、本田では 2回以内）
	もみ枯細菌病	375g	出穂30日前～5日前まで			